

昨年度に引き続き、エリマネプレ活動として新宿グランドターミナル（以下「新宿GT」という）の更なる周知拡大を目的とした「新宿GT将来イメージの情報発信」や、まちのイメージ向上・愛着醸成を目的とした「キャンドルナイトイベント」を実施した。また、新宿の拠点再整備方針における「方針10」の具体化に向けて、官民が連携し、「主な対象エリア」における具体的な取り組み内容の検討や調整等を行うことを目的とした、新宿GTエリアマネジメント協議会（以下「協議会」という）を2024年3月中に設立する。なお、これに合わせエリアマネジメント検討部会（以下「エリマネ部会」という）は廃止する。

○ 2023年度のエリマネプレ活動

■ 新宿GT将来イメージの情報発信

【目的】面的広がりのある告知による新宿GTの認知拡大、環境演出によるイメージアップ

- ・ B1ポスター（昨年度同様継続して実施）
- ・ デジタルサイネージ（昨年度同様継続して実施）※ポスター内容と連動した15秒動画
- ・ 仮囲いシート

掲載箇所：（2022年度～）旧小田急百貨店西側
（2023年度～）甲州街道南側、サザンテラス ※高さ2×幅12m程度



■ キャンドルナイトイベント

【目的】来街者の新宿や駅に対する愛着の醸成

- ・ めり絵シートによるキャンドル装飾体験
- ・ オンラインによるめり絵体験

【実施日】2023年12月15日、16日

【場所】JR新宿駅東口駅前広場



○ 協議会の組織体制

エリマネ部会において、協議会等設立に向けてエリアマネジメントを行う目的、活動範囲、活動内容及び体制等について検討を行ってきた。この度、これらについて一定程度整理が図られたことから、鉄道事業者と行政等からなる協議会を設立する。

エリマネ部会は廃止とするが、協議会が引き続き新宿の拠点再整備検討委員会と連携を行う。

新宿GTエリアマネジメント協議会

会員構成

【正会員】

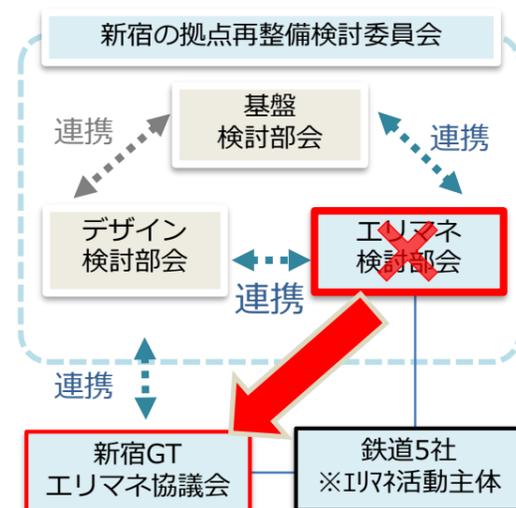
東日本旅客鉄道株式会社、小田急電鉄株式会社、京王電鉄株式会社、株式会社西武リアルティソリューションズ、東京地下鉄株式会社

【行政会員】

東京都、新宿区、渋谷区

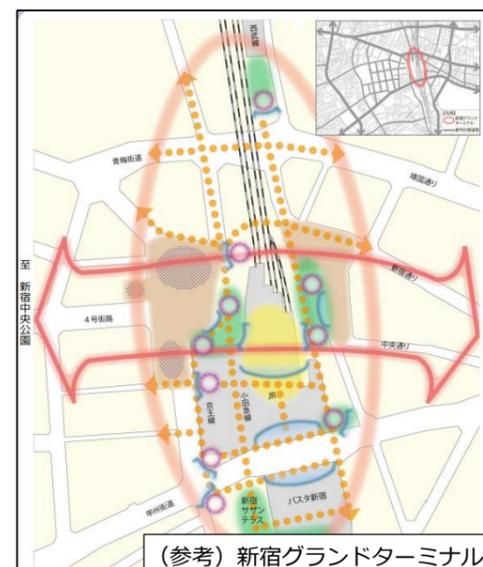
【準会員】

東京都道路整備保全公社

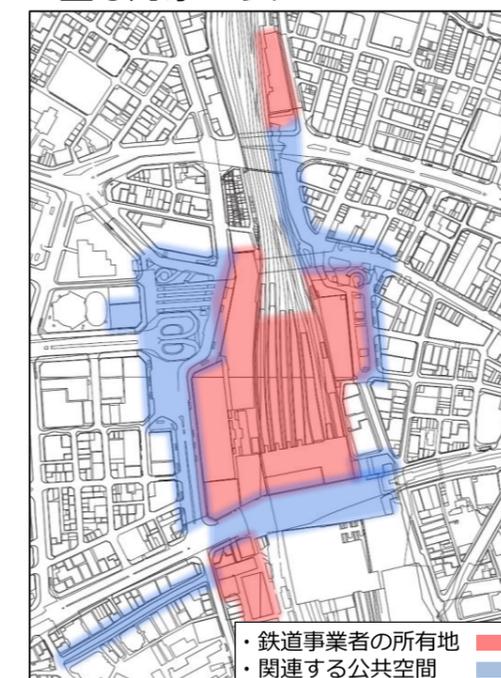


○ 協議会の主な対象エリア

主な対象エリアは、新宿の拠点再整備検討委員会構成員である鉄道事業者の所有地や関連する公共空間とする。



■ 主な対象エリア



○ 今後の活動内容（案）

新宿の特性・課題を踏まえ、エリマネの目的を整理するとともに、目的の達成に向けて、エリマネの活動内容について検討を進めており、今後、関係者と連携しながら活動の具体化を進めていく。

まちの特性

- ・自動車中心から歩行者中心の駅前広場に再編
- ・世界一の乗降者数
- ・多様で膨大な来街者が集積
- ・エリア全体で多様なイベントの実施
- ・それぞれのまちで違った個性・魅力を持つ

まちの課題

- ・駅構造が複雑で迷いやすい。
- ・トイレロッカー等設備の所在が分かりづらい。
- ・災害時の情報発信の連携体制・ルールが未整備
- ・防犯・環境美化の強化
- ・工事中、仮囲いによるにぎわい減少。動線が分かりづらい。

エリマネを行う5つの目的

①歩いて楽しい歩行者空間・交流空間を創出する

②わかりやすいグランドターミナルをつくる

③まち同士の一体感を創出する

④安全・安心なまちをつくる

⑤工事中も快適で賑わいのあるまちを維持する

エリマネの活動内容（案）

- ・公共的空間の利活用（①）
- ・にぎわいイベントの開催（①）
- ・案内誘導（②）
- ・利用情報提供（②）
- ・屋外広告物による統一感のある景観形成・情報発信（③）
- ・防犯・防災・環境維持活動の実施（④）
- ・災害時の情報発信（④）
- ・工事中の賑わい創出・情報発信（⑤）



【24年度取り組み（案）】

- ・継続的なエリアマネジメント活動の実現に向けて、協議会の場でルール作りを行う。
- ・新宿GTのにぎわいと交流機会を創出するようなイベントや、将来イメージに関する情報発信施策の企画・検討を引き続き行う。